



2023.1.1 発行

消費生活センター再始動 人と人をつなぐ場所へ



昭和50年、世の中が混沌としていた時代に設立された市民が運営する「消費生活センター」。その日々、問題に対して声をあげて、よりよく生きるために活動してきた歴史があります。現在はモノがあふれ生活は豊かになり、一定の食の安全性も手に入りましたが、果たして心は満たされているでしょうか？

コロナ禍で活動を縮小せざるを得ませんでしたが、令和4年4月から新しくスタートした私たちは、人の距離をはかりながら、様々な講座を企画し開催しました。

明けましておめでとうございます

新春号のテーマは 私が誇りに想うまち「羽村」

自分の住んでいるまちを知っていますか？
当たり前にある【羽村のまち】を見つめなおして
羽村のいいね！を探してみました。

見開きページを見てね→→→

コロナ禍で断絶されてきた

「人と人のつながり」

約3年間の辛い期間を経て、私たちは改めて
「対話すること・仲間がいることの大切さ」
を知りました

受験生の親になる前に知っておきたいこと
『塾なし』高校受験のススメ著者講演会

おやじの料理
簡単♪感嘆！イタリアン

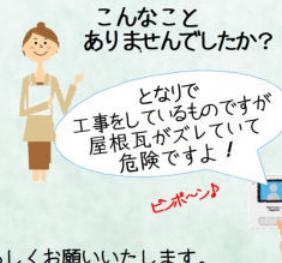
数年ぶりに消費生活センターの活動室・調理室に活気があふれ、企画した講座から、参加者が意気投合して、新しい自主グループも誕生しました！

市民が消費者であることを自覚し、未来を作っていくことの喜びを実感できる場。与えられるものではなく、自分たちでつかむ事の素晴らしいことは、未来へ繋がるものだと思います。このセンターがより多くの市民に活用していただけるよう、本年も活動していきます。

出前寄席

-第43回-
令和4年度 羽村市「消費者の日」

悪質商法の手口とその対処法など、消費者被害の未然防止に役立つ情報や被害にあったときの対処法をご紹介します。



場所：プリモホールゆとろぎ レセプションホール
定員：50人（先着順、羽村市在住・在勤の方優先）
申込：令和5年1月4日（水）午前9時～
2月10日（金）午後5時まで
☎ (042) 555-1111内640
✉ s107000@city.hamura.tokyo.jp

*マスク着用・手指の消毒等感染防止対策へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

お問合せは消費生活センターへ ☎(042) 555-1111内640

〒205-0003
東京都羽村市緑ヶ丘5-1-30
羽村市消費生活センター
運営委員会発行



消費生活センター相談室からのお知らせ

契約前によく確認！ そのネット注文“定期購入”かも！



…などと、お得感を強調した
サプリメント、美容・化粧品、健康食品などの
ネット注文は **注文確定** を押す前に必ず確認を！

《事例1》

お試しのつもりが、
定期購入の契約だった。

SNSを見ていたら、健康飲料がお試し価格100円という広告が出てきた。安いし、1回試してみようと注文したら、翌月も同じ商品が届き、商品代金7000円とあり、初めて定期購入の契約になっているとわかった。

★ 確認するポイント

① 「1回限りの購入ですか？」

「〇ヶ月コース」「定期」「自動更新」「無期限」などの表示があれば
2回目以降も届きます。

② 「2回目からの価格は？」

「初回」価格と「2回目以降」の価格を
よく確認しましょう。

③ 「解約方法は？」

1回限りで、簡単に、
無料で、
解約できますか？

改正特定商取引法により、上記①～③の内容については、
最終確認画面で明確に表示しなければいけません。

令和4年6月1日以降、消費者を誤認させる表示により申し込みをした場合は、
契約を取り消せる可能性があります。

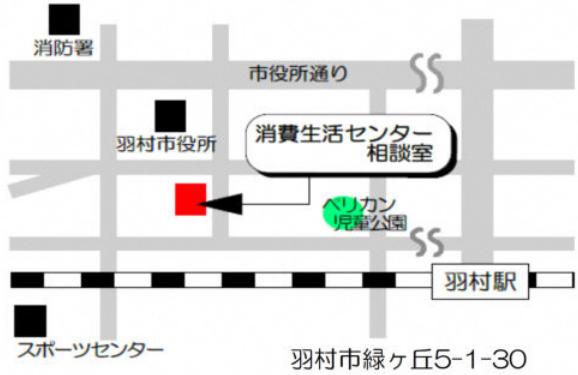


困ったときは、羽村市消費生活センターへご相談ください。

困ったときは
ひとりで悩まず、まず相談！
専門の相談員がお話を伺います。
(秘密厳守・無料)

【相談日・相談時間】
平日 月～金曜日
午前9時30分～正午
午後1時～3時30分
☎ (042) 555-1111内641
FAX (042) 555-5535

新型コロナウイルス
感染防止のため
来所の際は
マスクの着用を
お願いします。



羽村市緑ヶ丘5-1-30



住みやすさランキング（東洋経済 2020）
35位 / 全国 812 市区
全国の市で7番目に小さな市
(市の面積・9.90 km²)

ちっちゃな羽村、おっきな自慢

公園の数が多く、水も安く美味しいコンパクトシティ「羽村」
子どもから高齢者にも暮らしやすい自然豊かなトカイナカ^{*}です。

*トカイナカとは、都会とイナカの良さを兼ね備えたエリアという造語

- 自然**
- 水**
- 公園**
- 直売所**
- 都心に近い**

花、山、川 安全・美味しい 84 カ所 地場野菜・花 約1時間

よん 食の安全を守る「四ない運動」誕生

「有害添加物を使った食品を業者は：作らない、売らない 消費者は：買わない、食べない」
▶1970年代前半に羽村の母親たちが生んだ運動です。



“おいしい”豆腐、ハム、ソーセージ

業者に働きかけて発がん性物質の食品添加物「AF2」を抜いた
無添加の豆腐づくりに成功。その後
全国初の無添加ハム・ソーセージ開発を実現しました。
▶羽村の「無添加豆腐」を遠方から買いにくる人も。



これらの活動を通して生まれた消費生活センター

市民が 市民のために 自ら運営している、
全国でもめずらしい羽村市消費生活センター
50年近く経った今でも続いている。
▶市民が出会い、学び合う場を目指して・・・。



ここがすごいぞ！

私たちの 羽村市

羽村には自然、人、場所、
魅力あふれる宝物がたくさんあります。
日常にある羽村の良さを再発見してみませんか。

安心・安全で美味しい水道水

井戸から汲み上げた地下水を特別な設備でろ過し
消毒して水道水として送られ、公園・公共施設など
蛇口をひねれば美味しい水が飲めます。



▶市独自で水道事業を運営し、水道料金は東京で2番目の安さ。
※参考・参照：羽村市 HP、「第二次羽村市水道ビジョン」

みんな大好き、憩いの場

公園や「ヒノトントン ZOO (羽村市動物公園)」、
多摩川沿いの根がらみ前水田、羽村の堰、阿蘇神社、
まいまいす井戸など歴史ある場所は、
散歩スポットとして市民の憩いの場になっています。



シマハイエナのヨコちゃん

市民のつながり

趣味、学び、スポーツ、市民農園など
様々な住民のつながりや仲間との交流は
生き甲斐にもなります。
▶富士見公園での朝のラジオ体操は長年にわたり多くの市民が参加。



フードロス、使い捨てからの変革を

市民主導で始まった『にじいろフリーマーケット』や
『フードドライブ』活動への協力 & 活用を！
▶修理、手直しして使い慣れて愛着のある物をもう一度！



利便性が高い

小さなまちで平坦な部分も多いため、通院、買い物、行政サービス利用などで
過度に自動車に依存することなく日常生活が送れます。
▶利便性は、高齢者にとって自立した暮らしの重要なポイント。



「暮らしやすさ」は自然にできるものではありません。「こうあって欲しい」という多くの人の働きかけが生み出すものです。その力を發揮して、さらに住みやすいまちに。